

各教科の特性を踏まえた、東方中学校における「主体的・対話的で深い学び」を生む学習構成表

国語科

段階	定義	活動場面	教科の特性を考慮した活動（生徒の立場で記入する。）	ICTの活用
主体的な学び	<ul style="list-style-type: none"> ● 問いや疑問に対して、これまでに学習してきた知識や技能を使って、自分の考えをもつこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 課題を提示する。 ● 本時の授業内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本時の学習課題を確認する。 ● 前時までに学習した内容の中から、本時の学習課題に関することを確認する。 ● 筆者の主張をこれまで学習してきた文章の構成から、根拠と主張を考えることができる。 ● 人物関係図から登場人物の人物像や価値観を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● プレゼンテーションソフトやデジタル教科書を用いて、学習課題を確認させる。 ● タブレットPCの授業支援ソフトを用いて前時までの学習の振り返りをさせる。 ● デジタル教科書を用いて文章の構成を確認し、主張と根拠がどのように述べられているか考えさせる。 ● タブレットPCの授業支援ソフトを用いて人物関係図を作成し、人物像や価値観、登場人物の役割を考えさせる。
対話的な学び	<ul style="list-style-type: none"> ● 他と対話しながら、自分の考えを比較・吟味するなどして、考えを広げたり深めたりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 問題解決のための最も適切な方法をグループで検討させる。 ● 各グループでまとめた考えを発表させ、全体で吟味する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本時の学習課題について、根拠を付けてグループで発表し、検討する。 ● グループごとに学習課題について発表し、批判的・批評的に他のグループの意見を聞き質疑応答を行う。 ● 学習課題に対して、最も適切な意見、根拠または、表現を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 授業支援ソフトのグループ化機能を用いて、各自の考えを共有させる。 ● タブレットPCと授業支援ソフトを用いて、問題に対する解き方をグループで比較させ、最適な解き方は何かを検討させる。 ● 電子黒板を用いて、グループで話し合ったことを提示し発表させる。 ● 各生徒のタブレットPC画面に学習課題に関する考えを提示し、どんな結論が導き出せるのか、根拠は何かグループで話し合わせる。
深い学び	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分のこれまでの考えと新たな考えをつなげること。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習のまとめを行う。 ● 新たな疑問を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● グループや全体で検討した内容を参考に自分の意見を修正したり、書き加えたりする。 ● 本時で学んだこと、疑問に思ったことをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 作成したデータを友人と比較し、良いところや修正したいところを検討させる。